

平成30年度 第2回 裾野市文化財保護審議会 議事要旨

日時 平成31年3月15日(金) 14:00~15:00
会場 生涯学習センター2階 学習室2

1. 開 会 (事務局)

2. 教育長あいさつ (風間教育長)

今年度も文化財事業に御協力いただきありがとうございました。2019~2020年は、東京オリンピック・パラリンピック、深良用水通水350周年、市政施行50周年と様々な記念が重なった年です。引き続きよろしくお願ひします。

3. 委員長あいさつ (服部委員長)

楽しい郷土史だよりは、委員の協力のもと2月に発行されました。いいものができたと思うので、より多くの市民に手に取ってもらえるようにしていきたい。文化財事業は多岐にわたります。視野を広く持って、当審議会を運営していきましょう。

4. 報告事項

● 平成30年度事業報告

「楽しい郷土史だより 第8号」を平成31年2月に発行、各区に回覧依頼をした。富士山世界遺産登録5周年ということもあり、講演会やセミナーを開催した。また、文化財を紹介する企画展示や、裾野市史・裾野市史関連刊行物の無償配付を実施した。

● 市指定文化財：須山田向十二神社社叢の名称変更について

地元からの要望を受け、平成31年2月1日付で名称を変更した。

● 栄橋の架け替えに伴う橋脚跡保存について

千福側、石脇側にそれぞれ橋脚跡を確認した。施主と協議し、橋脚跡の保存に対して配慮しながら施工してもらうこととなった。

5. 協議事項

● 平成31年度事業計画について

例年の事業に加え、平成30年度に引き続き、市史関連刊行物の無償配付を行う。在庫の無い刊行物は、PDF化して市公式ウェブページで閲覧できる状態にしたい。「楽しい郷土史だより」第9号発行に向けて準備を進めたい。深良用水は世界かんがい施設遺産登録5周年を迎えるので、事業を企画したい。

6. その他連絡事項

- 委員任期の確認

現在の任期は平成 31 年 3 月 31 日で満了となる。3 名の委員が交代予定のため、あいさつ。

- 各委員より

- ◇ 深良用水は指定文化財となっていない。どの範囲を指定するかなど問題はあるが、深良用水が通水 350 周年を迎えることもあり、指定に向けて前向きに検討してみてはどうか。
 - 指定されると修繕時に現状変更手続き等が必要となるが、市指定であればそれほど煩雑にならないと思う。
 - 過去には指定時の名称をどうするかが問題になったと聞いた。
 - 名称は特にこだわらなくても良いと思う。
- ◇ 最近、文化財を活用しようという風潮が強い。市内には多くの魅力的な文化財があると思っているが、市では、文化財を活用し観光に役立てるような事業を考えているか。
 - 現時点で文化財担当課としての具体的な案はないが、観光、企画部門と連携して市の文化を発信していきたいと考えている。
 - 来年度は、静岡デスティネーションキャンペーンで深良用水隧道内の VR 体験など、いくつか事業は予定されている。
- ◇ 愛鷹山登山に訪れる市外の方は多い。十里木氷穴のテレビ取材もあった。市内の自然を守り、生かしていくことも文化財行政の柱の一つとしてはどうか。
- ◇ 過去の「広報すその」が市公式ウェブサイトで閲覧できる。文化財の記事もあるので、興味があれば確認してほしい。

- 次回審議会

4 月下旬以降、開催予定。連休は避ける。

7. 閉 会（武井副委員長）

今年度もありがとうございました。引き続き、文化財保護審議会がより良い方向に進むよう、御協力をよろしく申し上げます。